

陸甲三〇

大正十四年十一月七日

内閣書記官長

内閣書記官宣

大正十四年十一月十日可

内閣總理大臣

外務大臣

古

陸軍大臣

西

文部大臣

乃

遞信大臣

通

内務大臣

政

海軍大臣

彭

農林大臣

萬

大藏大臣

准

司法大臣

壹

商工大臣

五

別紙陸軍海軍兩大臣請議化學兵器手  
當給與ニ關スル件

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ

通閣議決定セラレ可然ト認ム

勅令案

呈案附箋ノ通

法務局

陸普第三八九〇號

官房第二五二之二

化學兵器手當給與ニ關スル件

大正十四年十月七日

海軍大臣財部

彪

陸軍大臣宇垣一成



内閣總理大臣子爵 加藤高明殿

化學兵器ニ關スル研究ノ爲其ノ試験、製造、検査並取扱ニ從事シ直接其ノ危害ヲ受クル懼アル軍人軍屬ニ化學兵器手當給與ノ件別紙勅令案ノ通制定ノ必要有之候條理由書ヲ具シ閣議ヲ請テ

陸中 三〇

海軍大臣

陸

軍

朕

器手當給與一件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 摄政御璽

大正十四年二月十四日

海陸軍大臣内閣總理大臣

付箋

朕

器手當給與一件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公

布

セシム

御名

攝

政御璽

大正十四年二月十

付箋

主任者 陸軍省監査課 大場主計  
海軍省經理局 傷木主計中佐  
横尾主計少佐

一ノ一

勅令第三百十四號

化學兵器ニ關スル研究、爲其ノ試験、  
製造、検査及取扱、從事シ直接其危  
害ヲ受クル虞アル陸海軍軍人軍屬（軍  
屬ニ非サル職工ヲ含ム）ハ別表、化學兵  
器手當ヲ給ス  
本令ヲ適用スヘキ化學兵器、範圍及手  
當、給與細則ハ主務大臣ニテ定ム

化學兵器

備	陸	海	級	月額
	陸	海	軍	月
將校同相當官、高等文官同待遇者	士官特務士官、高等文官同待遇者	士官特務士官、高等文官同待遇者	四十圓以内	六十圓以内
准士官、見習士官、見習醫官、見習船	候補生、准士官、判任文官一等	候補生、准士官、判任文官一等	三十圓以内	三十圓以内
前官見習、醫官、判任文官一等	下士官、判任文官二等以下、判任文官待遇者	下士官、判任文官二等以下、判任文官待遇者	二十圓以内	二十圓以内
下士官、判任文官三等以下、判任文官待遇者	兵	兵		
一、主務大臣ハ常時、勤務ニ非サル範圍内ニ於テ日額ニ依リ、化學兵器月額ノ二十分ノ一ヲ起工				
二、於ケル支給額、合計八月額ヲ超ユルコトヲ得ス				
三、特ニ危險ト認ムル作業ニ從事スル者ニハ、				
シ一月内ニ於ケル其ノ支給額、合計八月額ノ五割ヲ超ユルコトヲ得ス				
三、陸海軍ニ於ケル本表ニ掲ケサル者ニ對スル化學兵器手當ノ額ハ本表ニ				

別表

勅令第三百十四號

化學兵器 = 関スル研究、爲其ノ試験、  
製造、検査及取扱 = 従事シ直接其危  
害ヲ受クル虞アル陸海軍軍人軍屬(軍  
器手當ヲ給ス)  
當、給與細則ハ主務大臣之ヲ定ム

別表	階級	月額
陸軍	海軍	
將校同相當官、高等文官同待遇者	士官特務士官、高等文官同待遇者	六十圓以内
准士官、見習士官、見習醫官、見習機 械官、見習獸醫官、判任文官一等	候補生、准士官、判任文官一等	四十圓以内
下士判任文官三等以下判任文官待遇者	下士判任文官三等以下判任文官待遇者	三十圓以内
兵	兵	三十圓以内
備考		
一 主務大臣ハ常時勤務ニ非サル者ニ付シ月額ノ二十分ノ一ヲ超エサ ル範圍内ニ於テ日額ニ付キ當ニ給スルコトヲ得但シ一月内 ニ於ケル支給額、合計八月額ヲ超ニルコトヲ得ス		
二 特ニ危險ト認ムル作業ニ從事スル者ニハ、 シ一月内ニ於ケル其支給額、合計八月額ノ五割ヲ超ニルコトヲ得ス		
三 陸海軍ニ於ケル本表ニ掲ケサル者ニ對スル化學兵器手當ノ額ハ本表ニ 準シテ主務大臣之ヲ定ム		

附 則

本令ハ大正十四年五月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

理由書

歐洲大戰以來新兵器、進歩ニ伴ヒ化學兵器（毒瓦  
斯）、研究ハ軍事上最緊要ナリ然ルニ之カ試驗、製造  
等、現業ニ從事スルモノハ常ニ萬全、注意ヲ拂フモ尚  
絶エス其、中毒ニ羅リ或ハ不慮、災害ニ依リ死亡又ハ  
不具廢疾ト爲ル、不幸ヲ招クコトアルハ歐洲、事例  
ニ徵シ明ニシテ一般ニ嫌忌且危険視セラルモノナルカ故  
ニ航空勤務者、例ニ做ヒ特ニ手當支給ノ制ヲ設ケ以テ  
其ノ發達獎勵ニ資スルノ必要アルニ由ル

化學兵器豫算説明

[A] 歲出臨時部

款	項	日
○軍事費	兵器研究費	自十五年度至二十二年度 四〇七八円
○軍事費	兵器製造費	兵器研究費
○軍事費	備品費	兵器研究費

[B] 歲出經常部

款	項	日
○軍事費	兵器及馬匹費	兵器研究費
○軍事費	兵器研究費	化學兵器加俸(八、三七六円)
○軍事費	彈薈費	自十六年度至十八年度 四二一二円

自十六年度至十八年度  
各種彈薈及彈薈彈製造

自十六年度至十八年度  
彈薈機械及  
圖書費

